

海外安全対策情報

1. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) 警察当局が発表した2018年度第1四半期（4月～6月）の犯罪発生件数報告によれば、総犯罪件数は45,681件であり、前年度の第1四半期と比較して2.9%の増となっています。犯罪種別の内訳は以下のとおり。

殺人	125件（前年比19.9%減）
強盗	418件（同3.7%増）
強姦	126件（同13.5%増）
未成年への性的暴行	543件（同38.5%増）
麻薬関係	244件（同48.8%増）
暴行	15,297件（同1.7%増）
窃盗	14,328件（同2.3%増）
恐喝	5,865件（同2.2%増）
詐欺	4,373件（同2.3%増）
器物破損	3,123件（同7.3%増）
傷害	871件（同1.9%増）
不法侵入	368件（同13.6%増）

今回の統計では、強盗の件数が前年同期比3.7%増となり、第1四半期の前年同期比56.6%増と比較すると低い数字となりましたが、全般的に強盗に関する報道が増加しています。特に拳銃を使った強盗が頻繁に報道されています。強盗団は、ターゲットとなる外国人の行動を分析し、襲撃において最適なタイミングを見計らうような傾向も確認できることから、在留邦人の皆様におかれましては、いつも誰かに見られているという意識を持ち、極力定期的な行動は控えることが慣用です。防犯の心構えとして外務省ホームページの『ガーナ 安全の手引き』を参考いただき、未然防止に努めてください。

(2) 一般犯罪（邦人被害）

ア アシヤンティ州クマシ市アサホ地区において、二人組の邦人旅行者への窃盗被害が報告されています。

イ グレーターアクラ州アクラ市オス地区において、邦人の運転する車両が、ガーナ人の運転する一般車両に必要以上（20分程度）に追走され運転妨害される事案が報告されています。

(3) 凶悪犯罪（外国人被害）

ア アクラ市において、外国人宅へ侵入強盗被害が複数報告されています。

イ ウェスタン州ボゴスエリアにおいて、インド人とボディガード（警察官）が銀行から事務所へ戻ったところ、事務所内に潜伏した4人の強盗に襲撃される事案が発生し、インド人に被害はなかったが警察官が射殺され、強盗の1名は射殺、3名は逮捕された。また、同州インチャバンにおいて同様の事件が発生し、被害はなかったものの犯人はナイジェリア人の二人組で警察に逮捕された。

ウ ノーザン州において、ボランティアで派遣された外国人が、同州の病院内で診療後にレイプ事案が報告されています。

2. テロ・爆弾事件発生状況

管轄内における当該事件の発生は確認されておりません。

3. 誘拐・脅迫事件発生状況

管轄内における現地人の誘拐事件は、多数報道されています。

4. 対日感情

対日感情は基本的に良好であり特段の変化は見られません。

5. 日本企業の安全に係わる諸問題

当国において日系企業が脅迫、破壊行為等の被害を受けた報告はありません。

以上